

みんなで学ぶ子（確かな学力）



学力向上部 ～学びの広がり～【3. 08】

今年度も基礎基本の定着を目指し、全学年が朝の20分間、集中して読書や漢字練習、計算問題などに取り組んでいます。放課後学習も2～6年生は5月から、1年生は9月から開始しました。また、興味関心のある内容を主体的に追求して学ぶ「自主学習」にも継続的に取り組みました。より学びの質を高めるために、学年を越えて交流（みなみっこ学びの広場）するとともに、2学期には「自主学ウィーク」として、自主学大会、自主学ノート交流会をしました。自主学大会は、課題がしっかりまとめられているものを『わくわく賞』、基礎基本を丁寧に学習しているものを『ぱっちり賞』に選出し、表彰するものです。また、自主学交流会では、学年内で交流するだけでなく、ロイロノートで資料として家へ持ち帰り、自主学習の参考としました。ノート資料を活用することで、課題の見つけ方や追求の仕方、ノートのまとめ方への理解を深めることをねらいとしています。

子どもたちの学力向上には、ご家庭や地域の協力が重要です。各家庭に配布している「学びの手引き」には、具体的な学び方やモデルが示されています。今後もより一層、学校、家庭、地域が一体となって子どもたちに働きかけ、基礎基本の定着はもちろんのこと、何事も主体的に追求し学びを深められる力を育てていきたいと考えています。

言語力向上部 ～本との出会い～【2. 61】

感染症対策によってボランティアによるお話し会などの活動が制限される場面もありましたが、司書教諭による大型スクリーンを用いた読み聞かせなどを通して、本に出会う機会をつくることができました。また、図書ボランティア「ぶっくママ」さんには本の装備やしおり作り等をはじめ、図書室の環境を整えていただきました。ぶっくママさんに協力いただき準備したキャラクターしおりは子どもたちに好評で、キャンペーン期間中には読書記録へも意欲的に取り組んでいました。児童は、朝読書や読書記録に継続して取り組んでおり、読書の習慣が身につけてきています。

「本の楽しさをしてもらい、せいけつでみんなが楽しく過ごせる図書室にしよう」と目標を立てた図書委員会では、読書週間での朗読や読書クイズ、本の紹介ポップやおすすめの本コーナーの設置、ポスター作り等、児童が主体的に活動しました。来年度も教職員間で連携を図り、児童が本に触れられる機会を多くつくっていききたいです。

研究部 ～言葉にこだわる～【2. 78】

本校では「国語科」を中心に『言葉による見方・考え方』の育成に取り組んでいます。「文章とどのように向き合い、自分の読みを広げるのか」や、「他者の読みと自分の読みにはどのような違いがあるのか」など、教科書に書いてある『言葉』だけではなく、友達と話す活動の中にみられる『言葉』にも注目して学んでいける力を育成することをねらいとしています。

今年度は、学習用タブレットPCが全児童に配布され、様々な学習場面で活用が行われています。話し言葉を文字入力によって視覚化することも容易になり、児童の「この言葉の意味は？」や「どんな言葉で言えば…」という『言葉』にこだわる意識も一層向上しています。私たち教職員は、タブレットPCを有意義な学びのツールとして活用するためのスキルを指導することや、多様に広がる表現の力を発揮させられるような学習をデザインすることを目指し、日々の指導力向上に精進して参ります。

なかよくする子（豊かな心）



生徒指導部 ～ルールの大切さ～【2. 87】

今年度も感染症予防や分散登校もあったため朝のあいさつ運動の実施は見送ることとなりましたが、児童会役員を中心にあいさつ啓発運動を行い、子ども達からあいさつの大切さを伝えました。校内でのあいさつは高学年を中心に、自分たちからあいさつをするようにはなってきましたが、今後も自分たちから進んであいさつをするよう啓発していきます。

また、トイレのスリッパをそろえることや廊下階段の歩き方など、基本的な生活態度についてきちんと行えるよう取り組んでいきます。学習用タブレットの使い方も人を傷つけない使い方や使用時間など気になる点を改善していきながらルールの徹底をしていきます。職員が一丸となり継続して指導していききたいと思います。

特別活動部 ～学年をこえて～【3. 13】

同じ学年の集団ばかりでなく、異なる学年の集団とも仲良く関われるように、1・6年生、2・4年生、3・5年生で異学年同士のペアを作り、活動を行ってきました。

今年度は感染症対策のため、南小祭り、なかよし給食など、1度に多くの児童が集まる行事が実施できませんでしたが、その分児童会の子どもたちが中心となり、しっぽ取り遊びなどのペア遊びを企画し、少しでも異学年交流ができる場を設けることができました。どの学年も、ペアで交流したときには仲良く活動し、高学年が低学年の見本となって頑張ろうとする様子が見られました。

また、感染症対策を行いながら、1年生を迎える会も実施することができ、各学年からプレゼントを渡すなどして全校生で1年生の入学を祝うことができました。今年度も実施方法を工夫して活動に取り組むことができたように思います。

道徳部 ～心の成長と情報モラル～【2. 76】

道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を養い、よりよく生きるための指導を道徳の授業を中心に行ってきました。年間を通して、道徳ファイルを作成し授業ごとの振り返りを行うことで、学んだことや考えたことを児童がふりかえることができるようにしました。

今年度の成果としては、一人一端末のタブレットの配布及び持ち帰りに当たって、各学年が発達段階に応じた情報モラルの授業を行いました。個人情報を守ることや情報機器を使う際の約束を指導することで、インターネットを利用する際の注意点などについて規範意識を持つことができました。

一方で、学習したことについて日常でなかなか生かすことができているという課題もありました。継続的な指導や他の教科との連携を図っていくことが必要であると考えます。

来年度は、今年度重点的に指導を行った情報モラルに加え、人権教育や特別活動とも連携しながら更なる道徳の実践力を養えるような指導を行っていきます。

みんな元気だ（健やかな体）



保健部部 ～コロナに負けない～【2. 45】

今年度は新型コロナウイルス感染症予防のため、子ども達が自分で体を守ることができる習慣づくりが益々大切になり指導してきました。教室に入る時には、石鹸で手を洗いハンカチで拭くこと、教室を出る時には消毒をすること、場に応じてマスクをつけて生活することの習慣化に取り組んできました。

また、教師の方で、教室の窓を開け換気に努めてまいりました。保健委員会では、各階の水道の石鹸チェックを行ったり、手洗い・消毒・マスクのポスターを作り呼びかけたりしてきました。ご家庭に向けては保健だよりを発行しました。感染対策の習慣化がコロナウイルスの感染予防にも効果があったようです。本校で取り組んできた清潔なハンカチを携帯し石鹸で手を洗うことの重要性を改めて感じ、今後も継続することが大切だと考えています。来年度も、子ども達が自分で体を守れるように取り組んでいきます。

体育部部 ～子供と運動を紡ぐ～【3. 11】

体育では「生涯にわたって運動に親しむことができる素地を育てるとともに、健康的な体づくりと体力向上を目指す」という目標のもと、授業改善や体育的行事に取り組んできました。

今年度も、感染予防をしながら、目標が達成できるよう日々の授業の改善を行ってきました。授業中は、それぞれの運動のもつ楽しさに触れられるよう授業を展開することで、休み時間にも運動やスポーツに親しむ児童も多く見られるようになりました。

体育大会は、「日常では経験できない大集団で運動やスポーツに親しむ」ということを目標に実施しました。残念ながら全児童で保護者や地域の方も交えて本番を迎えることができませんでしたが、1・3・5年生と2・4・6年生と別れて体育大会を実施することができました。当日は、一生懸命競技や演技に取り組んだり、他学年を応援したりと日常ではなかなか経験することのできないスポーツの楽しさに触れる良い機会となりました。

3学期のみなみこなわとびあそびは、感染拡大の影響で中止となってしまいましたが、授業の中で触れたなわとびあそびから、寒い時期でもなわとびあそびに親しむ姿が見られるようになりました。今後も子どもたちがさまざまな遊びに触れる機会を増やし、運動を楽しみながら体力を向上させることができるようにしていきたいです。

食育部部 ～食生活と健康な体づくり～【2. 79】

望ましい食生活を知り、実践しようとする児童の育成を目指して、引き続き健康的な食生活の意識向上に取り組んできました。各学級での食育指導、給食便りの発行などを定期的に行っています。給食週間は、調理師さんへの感謝の手紙贈呈、「給食のルール」「好きな給食総選挙」の動画作成と放送、給食クイズなどを行い、食べものや食生活に興味をもつ機会になりました。

学校と家庭との連携を深めるために毎年開催している給食試食会やオープンスクール時の食育授業はできませんでしたが、給食エプロンの補修活動を保護者・PTA 役員の皆様にご協力頂きました。

日々の給食においては、給食委員会の児童が衛立についての掲示を行うことで関心を高め、各学級で配膳時や食事時の衛生管理に細心の注意を払いながら、個々の児童に合わせた配食量の工夫をしています。毎年の残食調査の結果から、残食量は少ない状態で継続できています。今後も子どもたちが栄養のバランスや規則正しい生活の大切さについて知り、実践しようとする中で、健康な体づくりに繋がるよう継続的な食育指導に取り組んでいきたいと思っています。